**様式⑤-1**

スポーツ競技(指導)歴・スポーツ競技(指導)実績に関するレポート

氏　名　：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　年　　月　　日 現在）

※入学者に求められる要件の中で、自身が該当する項目に○を付けて下さい。また、それを証明する公的書面の写しを添付すること。（例：認定証、辞令、派遣文書等）

|  |  |
| --- | --- |
| ①選手として特定のスポーツで日本代表の実績を３年以上有し、オリンピックあるいは世界選手権等への出場経験を有する者 |  |
| ②選手として特定のスポーツで日本国内のトップレベルのスポーツ競技会に５年以上にわたって参加し、入賞等の優秀な成績を収めた実績を有する者 |  |
| ③指導者として上記①～②に該当する選手をその年齢カテゴリーを問わず3年以上指導した実績を有する者、またはある年齢カテゴリーの選手育成において卓越した実績を有する者 |  |

**Ⅰ．スポーツ競技（指導）歴**

* 今まで所属していた高校・大学・社会人・その他のチーム・クラブ等について明記してください。

[年号は西暦で記入]

|  |  |
| --- | --- |
| 年月日 | 所属チーム・クラブ等 |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月　　 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月　　 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月　　 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月 |  |
| 　　　　年　　　月～　　　　年　　　月 |  |

**様式⑤-2**

スポーツ競技(指導)歴・スポーツ競技(指導)実績に関するレポート

氏　名　：

**Ⅱ．スポーツ競技（指導）実績**

a.　受験者自身が日本を代表して国際競技会に出場した等の競技(指導)実績を記入してください。

b. ①について、競技実績の場合は【競技】、指導実績の場合は【指導】と記入してください。

c. ⑥について、指導実績を記入した方は、指導をした競技者の氏名もしくはチーム名も記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①競技実績もしくは指導実績 | ②競技・種目 | ③大会名 | ④年月 | ⑤順位 | ⑥指導した競技者氏名・チーム名※指導実績の場合のみ |
|  |  |  | 年月 |  |  |
|  |  |  | 年月 |  |  |
|  |  |  | 年月 |  |  |
|  |  |  | 年月 |  |  |
|  |  |  | 年月 |  |  |
|  |  |  | 年月 |  |  |

**様式⑥**

技能向上に利用したデータ・資料とその結果に関するレポート

氏　名　：

受験者自身が技能向上のために利用した科学的データやトレーニングの根拠となる資料と，それらを利用した結果に関するレポートを作成してください。※枠が足りない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

**様式⑦**

トップレベルの選手(指導者)になる過程の内省レポート

氏　名　：

受験者自身が日本を代表して国際競技会に出場した等トップレベルのスポーツ選手になるまでの過程（指導者であれば選手やチームをトップレベルに育てた過程）や，科学的データや資料を利用した際の受験者自身の内省について記述してください。

※枠が足りない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

**様式⑧**

国際競技会における戦い方(戦術・戦略)に関するレポート

氏　名　：

出場した国際競技会の一つもしくは複数を例に挙げ、その競技会における戦い方（戦術や戦略）に関して具体的に記述してください。※枠が足りない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

**様式⑨**

実習計画書作成要領

下記を参照の上、次頁以降の様式⑨-A～Dを使用し、「コーチングマネジメント論・実習」の実習計画書について作成してください。

■コーチングマネジメント論・実習について

「コーチングマネジメント論・実習」として単位が認定される実習としては、以下のようなものが考えられる。

・海外でのコーチング実習：箇所間協定を結んでいる海外提携校、提携機関等の実習受入先でのコーチング実習。

・日本代表レベルのコーチング実習：日本代表レベルの国内合宿におけるコーチング実習

・国際大会でのコーチング実習：日本代表等の海外遠征等におけるコーチング実習

・早稲田大学体育各部における実習：研究指導担当教員が部長，監督，コーチとして関わる体育各部でのコーチング実習。

■記入例

▽具体例１　コーチングマネジメント論・実習

実施箇所：日本○○協会海外ナショナル合宿・競技会

対 象 者：日本代表選手

期 間：20○○年○月○日～20○○年○月○日（2週間）

場 所：アメリカ合衆国

実習の内容：①△△で行われる国際競技会において優勝するためのトレーニング計画を立案する。

②上記計画を実施し、競技会に至るトレーニング過程の指導内容とその結果を記述する。

③競技会における指導内容とその結果を記述する。

▽具体例２　コーチングマネジメント論・実習

実施箇所：韓国体育大学

対 象 者：韓国体育大学学生

期 間：20○○年○月○日～20○○年○月○日（3週間）

場 所：韓国

実習の内容：韓国体育大学における◎◎競技のコーチングに参加し、その内容をレポートするとともに、日本におけるコーチングに応用するための方策を検討する。

▽具体例３　コーチングマネジメント論・実習

実施箇所：早稲田大学体操部

対 象 者：早稲田大学体操部員

期 間：2013年4月26日～2013年6月28日（毎週火，水，土，日の17:00～18:00，計34回）

場 所：早稲田大学

実習の内容：鉄棒の△△という技を以下の手順で習得させ、その過程を記述する。

①△△の技術を検討し、その習得方法を立案する。

②選手にその習得方法を指導する

③習得過程を記述する。

**様式⑨-A**

実習計画書Ａ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | マネジメント科目名 |  |

 「コーチングマネジメント論・実習」（A, 2単位）の実習計画書について作成してください。

①実施箇所：

②対 象 者：

③期 間：

④場 所：

⑤実習の内容：

**様式⑨-B**

実習計画書Ｂ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | マネジメント科目名 |  |

 「コーチングマネジメント論・実習」（B, 2単位）の実習計画書について作成してください。

①実施箇所：

②対 象 者：

③期 間：

④場 所：

⑤実習の内容：

**様式⑨-C**

実習計画書Ｃ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | マネジメント科目名 |  |

 「コーチングマネジメント論・実習」（C, 2単位）の実習計画書について作成してください。

①実施箇所：

②対 象 者：

③期 間：

④場 所：

⑤実習の内容：

**様式⑨-D**

実習計画書Ｄ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | マネジメント科目名 |  |

 「コーチングマネジメント論・実習」（D, 2単位）の実習計画書について作成してください。

①実施箇所：

②対 象 者：

③期 間：

④場 所：

⑤実習の内容：

**様式⑩**

研究指導担当教員志望理由書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | 希望する研究指導教員名（修士論文の主査・副査） | 主査　：副査１：副査２： |

志望する研究指導教員（修士論文の主査・副査）に関する志望理由書について記入してください。

※修士論文の主査・副査教員と研究指導担当教員について

修士論文の主査：下記甲または乙から１名を選択。

修士論文の副査：主査が甲の場合は乙，丙から２名以上を選択。主査が乙の場合、副査１は甲とし、副査２は乙,丙

 から選択。

教員群 甲）土屋　純

乙）礒　繁雄，奥野　景介，堀野　博幸，倉石　平，岡田　純一，松井　泰二，射手矢　岬，藤田　善也

　　　　 丙）甲，乙以外のスポーツ科学研究科研究指導担当教員

　志望理由